

## 典拠の優先順位

システムに複数の典拠単語を定義する場合、メタデータ設定の単語リストで特定される際の、名前と件名の標目の優先順位(書誌レコードの第2インジケータが0から6の場合は最大3位まで)を設定できます([目録の設定](#)を参照してください)。この機能は、Ex Librisで設定する必要があります。この機能を実装する場合は、[サポート](#)にコンタクトしてください。

典拠の優先順位の目的は、件名の標目と名前に複数の典拠単語が使用される場合に、典拠管理の観点から単語間の優先順位を識別することです。

### Note

優先度リストで別の方法で定義されている場合でも、ローカル語彙は常に最優先度を持ちます。

複数の件名見出しまたは氏名、典拠、語彙、およびユーザーに対して優先順位が設定されている場合、メタデータエディターでF3キーを押して権限のチェックを実行すると、定義されたすべての語彙がそれぞれ別のタブに表示されます。タブを確認し、関連する語彙を選択し、その中の典拠見出しを選択することで、最も一致する典拠を検索できます。

リンクプロセスでは、優先順位に従って最適な一致が自動的に検索されます。[典拠とのリンキングプロセス — 典拠の優先順位に対するBIB見出しのジョブのリンキング](#)を参照してください。

件名の標目や名前に用いられる複数の典拠単語に優先順位が設定されている場合、例として、MDエディターで典拠のF3チェックを実行できます。また、デフォルトの優先順位一位の単語が標目に見つからない場合、システムは優先順位二位をチェックして一致を見つけます。優先順位二位の単語が標目に見つからない場合、システムは優先順位三位をチェックして一致を見つけます。F3機能に追加して、この機能は一般的な典拠管理にも適用されます。

第2番インジケータに7と\$2が指定された書誌レコードの場合、このシナリオではEx Libris設定オプションとこの機能の動作がわずかに異なることに注意してください。第2インジケータが7の書誌レコードの場合、Ex Librisは標目に2つの優先順位を設定できます。\$2で指定された単語は、[単語の除外]オプションが設定されている場合を除き、優先順位第三位(最後)と見なされます。[単語の除外]オプションを使用する場合、次が該当します。

- Ex Librisで、(ユーザー定義により)複数の単語を設定できます。
- 明示的に定義された優先順位一位と二位は使用されません。
- 書誌レコードは、\$2の値が[単語の除外]で設定された単語の1つと一致する場合、典拠の標目にリンクされます。
- \$2の値が、[単語の除外]で設定された単語のいずれとも一致しない場合、リンキングは発生しません。
- 典拠のF3チェックが実行されると、\$2の値のみが標目リストに典拠タブとして表示されます。[単語の除外]オプションを使用しない場合、優先順位的一位と二位に指定された単語と\$2で指定された単語のタブが標目リストに表示されることに注意してください。

この機能は、次の基準に基づいた単語をサポートします。

- MARC 21 / KORMARC

典拠の優先順位の設定には、さまざまな典拠レジストリ単語が含まれる場合があります。

---

## Note

多言語単語では、**典拠**の優先順位はサポートされていません。

---

この機能に関連するコミュニティゾーン アップデート作業リストに考慮事項がある場合があります。詳細については、[MARC21書誌レコードの作成](#)、[書誌標目の参照](#)および [典拠の優先順位が設定されている場合の典拠管理タスクリストの使用](#) を参照してください。

所属機関のシステムに**典拠**の優先順位を設定するには、[Ex Libris](#)にご連絡ください。

権限優先順位を構成できるのは、実稼働環境のみです。

---

## 典拠とリンキングプロセス - 典拠の優先順位に関する書誌標目のリンクジョブ

典拠の優先度が設定され、スケジュールされたリンキングジョブ(**典拠 - 書誌標目のリンク**)が実行されると、優先度が高い単語から順に標目の一致が検索されます。一致するものが見つからない場合、次に優先度の高い単語などが検索されます。単一一致が見つかった場合、リンクを作成し、次に評価するレコードに移動します。このプロセスは、第2インジケータが7の書誌レコードでは少し異なります(上記の説明を参照)。

典拠の優先順位が設定され、システムにより優先順位第一位の単語との一致が複数件見つかった場合、その書誌および**典拠**レコードと優先順位第二位/次に優先度の高い単語との一致の評価には進みません。代わりに、〔**典拠管理タスクリスト**〕で複数一致がレポートされます(詳細については、[典拠の優先順位が設定されている場合の典拠管理タスクリストの操作](#)を参照してください)。

---

## リンキング調整の有効化

優先度の低い単語にリンクされているレコードは、優先順位の高い単語にリンクするために **典拠 - 書誌**の標目のリンクジョブを実行する中で再評価することができます。たとえば、レコードが優先順位第二位であるLCNAMESという**典拠**の標目にリンクされていて、HKCANが優先順位一位である場合、その後の**典拠 - 書誌**の標目ジョブの実行時に、一致するHKCAN**典拠**が追加され、システムはレコードをHKCAN**典拠**の標目に再リンクします。リンクされたレコードの優先順位の高い単語を再評価するプロセスは、名前と件名の両方の**典拠**の優先順位設定でtrueに設定する必要があることに注意してください。

典拠管理タスクリストのリンキング - 書誌の標目は、優先順位の高い**AUT**レコードに再リンクされましたりレポートは、**典拠 - 書誌**の標目のリンクジョブの実行時に、再リンキングに関する追加情報を提供します。このレポートを使用する場合は、**典拠管理リスト**タイプのレビューコードテーブル(〔**設定メニュー** > **リソース** > **一般** > **典拠管理タスクリストタイプ**〕)を有効にする必要があります。デフォルトでは、このレポートタイプは無効になっています。詳細については、[典拠管理タスクリストレポートタイプの設定](#)を参照してください。

---

## 典拠の優先順位が設定されている場合の典拠管理タスクリストの操作

予定された**典拠 - 書誌**の標目のリンクジョブが実行された後、標目レコードは、リンク済み(単一の一致が見つかりました)、一致なし、複数一致(単語に複数の一致が見つかりました)として識別される場合があります。一致しない場合と複数一致する場合は、ユーザーの注意を促すために**典拠管理タスクリスト**に表示されます。**典拠管理タスクリスト**に表示され

これらのシナリオに加えて、システムが**典拠の優先順位 (Ex Librisによってのみ設定可能)**を設定している場合、以下のとおり追加の複数一致ケースが表示されます。

- 設定された**単語**のいずれかで複数一致が見つかりリンクされていない - 最大**3つ**の優先**単語**を設定できるため、〔**典拠管理タスクリスト**〕に標目レコードは、複数一致すると認識された**単語毎**に複数回にわたり表示される場合があります。
- 設定された**単語**のいずれかで複数一致が見つかり、かつリンク済み - このシナリオでは、優先度の高い**単語**で複数的一致が見つかりましたが、優先度の低い**単語**で**単一**の一致が見つかり、標目レコードは優先度の低い**単語**レコードにリンクされます。リンクはあるものの、〔**典拠管理タスクリスト**〕にこのケースを表示する目的は、複数の一致からより良い、より優先度の高い**単語**リンクを手動で**選択**できるようにするためです。

リンキングの詳細については、[典拠レコードの操作](#)を参照してください。

詳細については、[典拠管理タスクリストの使用](#)ページも参照してください。